

# Co-Creation

with the community  
2022

vol.07

## CONTENTS

P1 学長メッセージ / Co-Creation第7号発行にあたって

### 【特集記事】

P2 サイバーセキュリティに関する協定 /  
仮名加工情報を用いたデータサイエンスに関する連携協定

### 【地域連携 古賀市】

P3 防災キャンプ / 高齢者へのメッセージカード

P4 JR古賀駅西口エリア活性化プロジェクト /  
PBL古賀市プロジェクト

### 【地域連携 新宮町】

P5 楯の松原保全活動 / SSX推進イノベーション事業

P6 新宮町図書館まつり / たちばな竹灯籠まつり

### 【地域連携 篠栗町】

P7 地域創生入門 / スポーツ交流

### 【大学連携 国公立大学環境分野3大学】

### 【大学連携 福岡未来創造プラットフォーム】

P8 環境フォーラム / 商店街PBL /  
共同開講プログラム

### 【大学連携 東部地域大学連携】

P9 防犯キャンペーン / 東区芸術文化祭 /  
県警察署からの感謝状贈呈

P10 認知症声掛け訓練 / ユースフェスタ・ひがし2022  
ポイント制度について



## Co-Creation第7号発行にあたって

福岡工業大学は地域貢献ならびに地域との共生・共創 (Co-Creation) を念頭に、地域のニーズを汲み取り、日々の教育・研究活動と大学改革に取り組んでいます。

2022年度は、福岡県警察と「サイバーセキュリティに関する協定」を締結しました。これは、福岡県民におけるサイバー空間の安全・安心を確保することを目的とし、本学と福岡県警察とのマルウェア解析に関する共同研究を起点に、技術交流、人材育成等の取組においてさらなる連携を図り、福岡県内のサイバーセキュリティ対策に福岡県警察と連携・協働する取り組みです。また、古賀市とは、市民に関する膨大な情報をデータサイエンスの観点から分析し新しい行政サービスの創出を目指す「仮名加工情報を用いたデータサイエンスに関する連携協定」を締結しました。同市が保有する膨大な市民データを利活用した、行政課題の解決や新たな行政サービスの創出を目的とし、個人情報を適切に保護した仮名加工情報であるビッグデータから、本学がデータサイエンスの観点から当該データを分析し、様々な知見を提供するものです。

このように新たな連携が広がっているなか、福岡工業大学では、本学のすべての学生が地方公共団体、産業界、他大学等の地域を通じた多様な学習機会を、正課内外で活用することで、地域の産業活性化や、個別のニーズにきめ細やかに対応できる高い実務能力を備えた実践型人材の育成に取り組んでいます。

ここでは社会連携室の2022年度の主な活動内容を記載しています。この冊子を手にとって活動内容をご覧いただき、本学の活動にご理解とご協力をお願いしたいと思います。

また、2023年度には本学の特色を活かした「地域貢献と実社会をフィールドとする学びの機会」を創出するため、社会連携室(大学・社会連携)とエクステンションセンター(資格取得・生涯学習支援)を統合した、社会連携センターが発足いたします。

社会連携センターでは、新たなアクションと大学・社会連携活動の高度化に取り組んで参ります。

福岡工業大学 学長  
**村山 理一**

下村輝夫学長の退任と学事顧問就任に伴い  
2023年4月に新学長として就任



### 社会連携センターとは

福岡工業大学では、学長のリーダーシップの下、連携強化に向けて近隣自治体、大学、企業との「包括的連携協定」を積極的に活用。社会連携センターは自治体・大学・企業との窓口となって、学内複数の学部・学科・各部署と協働し、多種多様な連携事業を展開しています。

## 特集 1

# サイバーセキュリティに関する協定を締結

福岡県警察 FIT



本学と福岡県警察は「サイバーセキュリティに関する協定」を締結し、2022年6月28日福岡県警察本部にて協定締結式が行われました。

情報通信技術に関する教育・研究を行う本学は、高度に情報化が進む社会からの要請に応えることが大学の重要な役割であると考えています。

情報工学部 情報工学科の種田和正教授は秘匿通信を利用する攻撃者の追跡や、ユーザーをだまして個人情報を送信させる不正なソフトウェアの解析などのサイバーセキュリティに関する研究を行っており、これまでも福岡県警察様との間で共同研究に取り組んできました。今後この研究を軸に、相互間の情報・技術の共有や人材育成、協力して県民向けの意識啓発活動などを行います。

協定式には本学から下村輝夫学長、情報工学科 種田和正教授が出席し、福岡県警察本部 岡部正勝本部長と下村学長が協定書にサインしました。



## 特集 2

# 仮名加工情報から古賀市のDXをサポート ビッグデータを分析し、 新しい行政サービスを作る連携協定を締結

古賀市 FIT



福岡工業大学と福岡県古賀市は、まちづくり推進や学術振興などを目的とし、連携して様々な活動を行っています。

2022年度、本学と古賀市の間で新たに「仮名加工情報を用いたデータサイエンスに関する

連携協定」を締結する運びとなり、2022年11月7日に古賀市役所にて、締結式が行われました。

2023年4月より、改正個人情報保護法が古賀市にも適用となり、古賀市の持つ個人情報から氏名など個人を特定できる情報を伏せるなど加工し



たうえで、外部に提供できるようになることから、本学にデータ分析の依頼があったことが発端となり、今回の連携協定締結へと至りました。

今後本学は、健康寿命の延伸など古賀市の抱える課題解決に資する分野でデータ分析を行っていきます。

協定式には本学から下村輝夫学長、情報工学科馬場謙介教授が出席し、田辺一城市長と下村学長がサインしました。

※仮名加工情報は、他の情報と照合しない限り、特定の個人を識別できないように加工した個人情報に関する情報のこと。

## 本学開発「防災Go!」の体験と効果検証に住民57名が参加



福岡工業大学と古賀市は、まちづくり推進や学術振興などを目的に2014年に包括的連携協定を締結し、産業振興や防災など様々な連携事業を展開しています。

2022年9月23日、古賀市立花鶴小学校PTCA(保護者、教員、地域で構成される組織)主催の防災イベントの一環として本学社会環境学科の森山聡之教授と上杉昌也准教授及び同研究室の学生が、本学と企業が共同開発中の防災アプリ「防災Go!」を活用した防災教育を実施し、住民の皆さま57人に参加いただきました。

地震や大雨などの災害発生を想定し、命を守

るための避難所等や避難経路を事前に把握することは不可欠ですが、地域の危険箇所や避難経路を把握している人は多くありません。

本学が開発中の「防災Go!」は、位置情報データと地域の防災情報を組み合わせた防災ゲームアプリで、地図上に表示される防災情報箇所まで行くと、その場所に関するクイズに答えてポイントを増やしていくゲームとなっています。

今回は古賀市立花鶴小学校PTCA協力の下、小学生やそのご家族に体験してもらい、ご自身達が住む地域の避難所等や危険箇所を知ってもらうとともに、アプリ体験後に防災に関するテ

ストを解いてもらうことで、防災認識の向上と「防災Go!」の効果検証を行いました。

この日は、防災キャンプ会場の古賀市立花鶴小学校体育館で「防災Go!」アプリの操作説明と参加者のチーム分けを行った後、小学校周辺を約1時間歩いてアプリを体験いただきました。体育館に戻った後はポイント数の高いチーム順に順位を発表し、盛り上がりを見せていました。

その後、アンケートにご協力いただき、効果検証に資する有用な情報を得ることができました。今後も福岡工業大学は古賀市と連携し、有事に備え、防災に関する取り組みを進めていきます。

## 学生が高齢者に心を込めたメッセージカードを作成



福岡工業大学と福岡県古賀市は、包括的連携協定を締結し、介護予防でも連携事業を展開しています。

新型コロナウイルス感染症対策として、様々な活動が制限される中、高齢者の気力や体力の

低下が心配されています。連携協定を結んでいる古賀市と本学は協力して介護予防につながる情報を高齢者にお届けし、長く元気な日常生活を送ってもらうことを目的に、メッセージカードを作成しました。



本取り組みは、昨年度から始まり、今年度は7月中旬から年末にかけて学生がカードを作成しました。2022年9月26日に、9月中旬までに完成した約500枚のメッセージカードを、学生を代表して、博士課程1年の張さんと、社会環境学科3年の田村さんから古賀市健康介護課へ贈呈しました。贈呈したメッセージカードは、イベント等で高齢者に渡し、受け取った高齢者から「とてもうれしい」「お返事を書きたい」と喜びの声が聞かれています。

この取り組みについては、10月2日の朝日新聞朝刊に掲載され、学内外の注目を集めました。本学では引き続き高齢者に心を込めたカードを作成し、古賀市を通じて高齢者にお渡しいたします。

## 「JR古賀駅西口エリア活性化プロジェクト」で人流ビッグデータを分析



2020年度より古賀市と株式会社ホーホウが中心となって進めているJR古賀駅西口エリアの活性化プロジェクトに令和3年度から社会環境学部 社会環境学科 上杉昌也准教授とその研究室に所属するゼミ学生が参画し、「JR古賀駅西口エリア活性化×福岡工業大学連携プロジェクト」課題解決型学習(PBL※)として商店街の活性化に取り組んでいます。

2023年1月16日、JR古賀駅の商店街活性化PBLで初めてとなるプレゼンテーションを、上杉研究室の3年生14名の学生が商店街や市役

所の方々16名に対して実施しました。

プレゼンテーションは「ビッグデータ活用による商店街の分析調査」というテーマで学生たちがこれまでに分析し、まとめた商店街の人流に関するデータを通りごとの細かい結果や県内他所の商店街との比較結果などについて発表し、参加者の方との情報・意見交換を行いました。

上杉研究室のゼミでは、これまでJR古賀駅西口エリアの現状分析のため、通信キャリアの位置情報ビッグデータを活用したサービス(KDDI Location Analyzer)を用いて来街者の年代



や性別などの属性や時間帯ごとの人流について調査分析を実施。この度、これまでの調査結果を商店街の事業者や古賀市役所の職員に対して報告し、参加者は普段の商店街の状況と照らし合わせて真剣に聞き入っていました。本取り組みは次年度以降も長期的に継続する計画です。

発表後は、参加者から詳細について質問や今回の結果をどのように生かしていくかなどの意見交換があり、上杉准教授から、大学がもつデータに基づいた分析結果と商店街の方から見た生の声を互いにフィードバックし合いながら活性化につなげていくことが重要で、今回のような交流の場を今後も定期的に開催していきたいと今後についての展望が述べられました。

※PBL(Project Based Learning)とは、文部科学省が推進するアクティブラーニングの一つで、現実社会の課題に直面させその解決を図る過程で、より深い知識の獲得や課題解決能力の向上に資する教育手法です。

## 学生が企業や工場・倉庫の課題解決策を発表



情報工学部システムマネジメント学科では、2017年度から古賀市及び古賀市内企業と連携し、企業の抱える課題をテーマに解決策を検討・提案する課題解決型学習(PBL:Project Based Learning)に取り組む、6年目となります。

2022年度は、古賀市に事業所を置く株式会社ナダヨシ様、株式会社ヒサノ様、株式会社増田桐箱店様、昭和鉄工株式会社様の4社と連携し、3年生17名が企業ごとにチームを構成し、作業

効率の向上や工場内の最適配置など、学科の学びと科学的手法やテクノロジーを活用した課題解決に取り組んできました。

2023年1月18日、取り組んできた成果を発表する場として成果報告会を開催し、PBLに取り組む4チームそれぞれが考えた課題解決策の提案を実施。成果報告会には、PBLにご協力頂いた企業と古賀市役所の方々8名に参加いただきました。各学生チームから、①技能継承を促す効果的



な作業動画マニュアルの作成、②搬出作業の撮影動画から作業要素をソフトウェアで分析し、作業工程を効率化する提案、③工場内の大量な鑄型の管理・入出庫について利点・欠点を比較検証し、配置改善を決定するモデルの提案、④桐箱の製作において、従業員の業務経験数や国籍等に関係なく、工程手順の明確化と可視化を図るピクトグラムを付した作業タグの提案がありました。

発表を聞いた企業の担当者様からは「課題を解決することは企業だけで取り組むのではなく、自治体と大学と一緒に検討することによって新しい発想が生まれるため、良い取り組みだと思います。」「企業の発展のためには現状分析と効率化の観点から管理工学、オペレーションズリサーチが必要なので今後とも一緒に磨き上げていけたらと思います。」とコメントを頂きました。

シスマネPBLでは、次年度も新3年生に引継いで取り組みを続けていきます。

## 学生、教職員が 新宮町の環境保全活動に参加



2022年6月18日新宮町「楯の松原保全活動」と「新宮海岸清掃活動」が開催され、福岡工業大学も、新宮町住民や町職員、筑前新宮に白砂青松を取り戻す会の皆様と共に活動へ参加しました。

本学からは、硬式野球部の学生29名、学生サークル等を含む一般学生52名、教職員5名を合わせて86名が参加しました。包括連携協定を

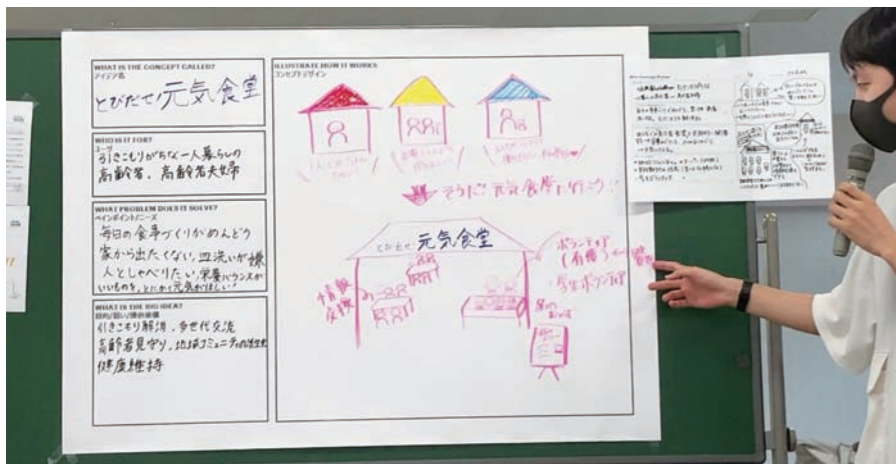
締結している新宮町と本学は、例年開催される「新宮町クリーン作戦」や「楯の松原保全活動」へボランティアとして参加しておりましたが、新型コロナウイルスの影響から、2020年以降3回連続で中止となっており、今回は約3年ぶりの参加協力となりました。

当日は晴天の中、松原保全側と海岸清掃側に分かれ、新宮町の住民や町職員と共に総勢281



名が1時間半の清掃活動を行いました。日差しが強い中、汗をかきながらの活動となりましたが、活動を終えた後の松原と海岸の景観はとても良くなり、清々しい気分となりました。福岡工業大学は地域貢献の一環として、今後も地域の環境美化活動に積極的に参加いたします。

## 「SSX推進イノベーション事業」に 本学学生11名が参加



本学と包括連携協定を締結している新宮町は2022年度、ふるさと財団（地域総合整備財団）の補助事業に「SSX推進イノベーション事業」の名称で採択され、Society 5.0とDXの可能性を活用する地域の実現に向けたケーススタディに取り組んでいます。

本事業には、新宮町のイノベーションの取り組み全体をマネジメントする支援事業者としてNTT西日本（西日本電信電話株式会社）が参画するほか、Society 5.0とDXの可能性追求事業に福岡工業大学も参画し、地元大学や企業等と連携を図り進めていくものとなっています。

2022年9月13日、本事業の一環で「どんな世代でも働きやすく、住みやすい持続可能な地域を実現するためにどんなサービスを提供すれ

ばよいだろうか」というテーマのワークショップが開催され、本学の学生11名が参加し、新宮町職員22名、NTT西日本社員6名とチームを組んでデザインシンキング※を実施しました。

各チームそれぞれ別の境遇の人物像を与えられ、その人物像に寄り添った行動分析、改善点整理、アイデア出し、必要とされる新規サービスのコンセプトを検討しポスター作成を行い、最後にプレゼンテーションを実施。各チームから、「VRと古民家を活用した地域交流コミュニティ」、「GPS 内蔵パジャマ型カメラによる児童の防犯サービス」、「アプリとGPS情報による最適な交通情報の提供とカーシェア」、「店舗サービスと連携するスケジュールアプリ」、「島民や高齢者のためのオンライン診療」、「高齢者向け見



守り・コミュニティ型食堂」として住民目線のアイデアが出され、全てのチームで本学の学生が代表して発表を行いました。

新宮町の職員からは「学生が率先している」とアイデアを出して進めてくれ、とても優秀だったや「大学生を交えて考えることで、職員の発想も柔らかくなり良かった」といった感想が聞かれました。参加した学生からは、「自身と他の人の意見を融合させ新しい発想を生み出すことを体験し、多くのことを学んだ」「自治体職員とワークショップをするというなかなかできない貴重な経験ができ、またとても楽しかった」といった感想が聞かれました。

今回出されたアイデアや内容は、本事業を通じてサービス創出のプロトタイプに生かされ、新宮町のより良い行政サービスにつながることに期待が寄せられます。

※デザインシンキングとは…ユーザー目線でアイデアの発散と収束を繰り返す、問題解決のための思考法

## 木室研究室がロボットを使った プログラミング教室を実施

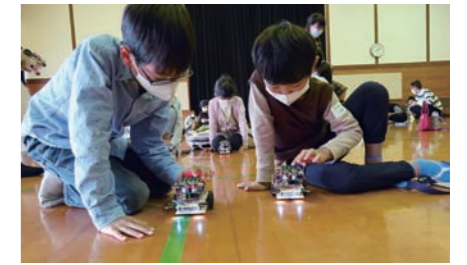


2022年11月5日、本学と連携協定を締結している新宮町の町立図書館が主催する「図書館まつり」にて、情報工学部情報システム工学科木室研究室が小学生対象にロボットプログラミング教室を開催しました。

プログラミング教室では、情報システム工学科の木室教授が講師となり、新宮町の小学生1年生から6年生までの30名が、車型とドローンのプログラミングロボット教材でプログラミングの基礎を学びました。同研究室に所属する大学

生5名も、サポートとして参加しました。

参加者は、1人1台配布された車型ロボットの上部にあるボタンを操作して、前後に進んだり左右回転したりする動きを確認した後、その動きをプログラムする方法や黒の線で描いたレールをセンサーで読み取って走らせる方法を学びました。試行錯誤しながら自分のイメージした通りにプログラムできるようになった後、15人程度のグループを作り、全員が同じプログラムを入力して同じ動きをさせる「ロボットダンス」を実施し、プロ



グラムはコピーすることが可能であることを学習。ロボットを並べて一斉に実行させ、同じ動きをした時には会場から拍手が沸き起こりました。

次にドローンロボットを使った学習を実施。まずはコントローラーのジョイスティックによる操作でドローンの動きを確認し、操作の難しさを体験しました。その後、車型同様、テンキーのボタン入力によるプログラミングを行い、前後、左右、上下と旋回の3次元で動作するドローンのプログラミングを実施。普段触らないドローンの操作に悪戦苦闘しながらも、参加者は皆とても楽しんでいる様子うかがえました。

プログラミング教室を終えた参加者は「とても楽しかった」「ロボットは初めて触ったものばかりだったけど、いろいろなプログラミングができていい経験になった」「今後もこういうイベントがあったら進んでやってみたくかった」「細かく説明してくれたのでとても分かった。」などと話していました。

## 「たちばな竹灯籠まつり」に 学生が協力



福岡工業大学と福岡県糟屋郡新宮町は、環境の保全や教育、文化の振興などを目的に2014年に包括的連携協定を締結し、様々な連携事業を展開しています。

2022年11月19日に新宮町立花地区で開催された「たちばな竹灯籠まつり」ボランティアに本学の学生7名が参加し、竹灯籠の設置や火付け、親子が行列するほど人気の綿菓子の作成・販売などイベントの準備と運営を行いました。

「たちばな竹灯籠まつり」は、以前竹の伐採・

提供でもお世話になった里山保全を行う団体「Tachibana All Powers (TAP)」が主催のイベントで、同地区内の畑、神社、公民館を会場に開催されました。

学生たちは、まつり当日の朝9時から竹灯籠を会場に設置し、ロウソクを灯籠の中に入れて火をつけるなどの準備作業を行い、まつり開始後は風で消えたロウソクに火を付けて回ったり、綿菓子の作成・販売を手伝ったりしました。

主催のTAPメンバーからは、「6,000個の竹



灯籠の準備は人手が必要で、学生たちが手伝ってくれて大変助かりました。綿菓子もとても上手に作ってくれて素晴らしいかったです。」とお褒めの言葉をいただきました。

学生たちは、「朝9時から21時までの活動で多少の疲れはあったが、自分たちで準備した竹灯籠の幻想的な光を見たり、TAPの方々といろいろな話をしたりして、とても楽しかったです」と話していました。

## 「地域創生入門」で 学生が篠栗町長にプレゼンテーションを実施



福岡工業大学と篠栗町は、地域福祉や人材の育成などを目的に2020年に包括的連携協定を締結し、介護予防事業や学生の課題解決型学習(PBL:Problem Based Learning)などにおいて、様々な連携事業を実施しています。

今年度、連携事業の一環として後期の教養力育成科目「地域創生入門」(担当:教養力育成センター 植崎兼司教授)において、「篠栗町におけるポストコロナ時代のエビデンスに基づく介護

予防事業の検討」をテーマに、町に役立つ介護予防事業の企画立案に学生がPBLとして取り組んできました。2023年1月19日、その成果報告の場として篠栗町の三浦町長と町の職員の皆様などに聴講していただき、大学1年生から3年生の受講者24名が4チームに分かれ、課題解決策の提案を行いました。

篠栗町と連携した介護予防に関するテーマでのPBLは3年目となり、最終プレゼンテーション



では既に町で実施している介護予防事業や、その広報手段に関する具体的な改善策の提案を実施しました。

発表を聞き終えた三浦町長からは「過去2回この授業に参加させていただいたが、年々学生のプレゼンテーション能力が高まっているのを感じている。今回の4つのどの提案も大変参考になり、今後篠栗町の運営においてしっかりと活用させていただきたい。」と総評をいただきました。



ずっと楽しい時間を過ごすことができ、終始笑顔の絶えない野球教室となりました。さらにアップグレードした野球教室を開催していきます。

## 学生が企画立案し 野球教室を実施



福岡工業大学と篠栗町は、教育、文化及びスポーツの振興などを目的に2020年に包括的連携協定を締結し、学生の課題解決型学習(PBL:Project Based Learning)などにおいて、様々な連携事業を実施しています。

2023年1月21日、本学の塩浜総合グラウンド(FITスタジアム)に篠栗町の少年野球チーム「福岡レンジャーズ」様をお招きし、本学の強化クラブである大学硬式野球部による野球教室を実施しました。参加者は、小学生17名でした。

野球教室は、硬式野球部の幹部学生を中心に

練習メニューを組み立て、当日の運営は全て学生主体で行い、小学生には普段とは違う環境で技術の向上に励んでもらうとともに、学生は他者の指導を通してコミュニケーション方法やものの伝え方を学ぶなど、相互の成長に貢献しました。

当日は、開会式にて硬式野球部山本監督より挨拶があり、その後、ランニング、キャッチボール、パート練習、シートバッティングなどを行いました。どのメニューも、学生が、小学生に細かく声掛けし、動き方や注意するポイントを教えました。9時から12時の3時間、小学生たちは

## 国公立大学環境分野3大学連携



本学と長崎大学、熊本県立大学は環境分野における学術研究の発展や学生、研究者の相互交流の推進を目的に包括的連携協定を2014年に締結し、毎年「環境フォーラム」を開催しています。

コロナ禍のため2020年、2021年は開催されませんでした。7回目となる2022年は「国公立大学」の最新環境研究」をテーマとして2022年12月10日に熊本県立大学で開催されました。

当日は3大学からオンラインも含め140名の参加となりました。本学からは下村学長をはじめ社会環境学科の教員6名、職員2名、学生、院生7名の16名が参加し、日頃の研究活動の成果を共有しました。

熊本県立大学、堤裕昭学長の特別講演、長崎

大学の発表ののち、本学社会環境学部 上杉昌也准教授による「地域防災に向けた防災アプリ『防災Go!』の展開」について発表があり、質疑応答が行われました。

その後、3大学の院生、学生によるポスター発表が行われ、活発に意見交換が行われました。本学大学院 社会環境学研究所の大学院生3名、社会環境学部 社会環境学科の学生4名が、「国際比較に見る日本の海洋プラスチック政策」「新宮町における両生類を対象とした分布調査」などそれぞれの研究テーマについて発表しました。参加の学生たちにとって、他大学の学生と意見交換を行い、研究内容や学生の発表姿勢を知る貴重な機会となりました。

## 福岡都市圏の大学生が 協働で商店街活性化にチャレンジ



福岡都市圏の15大学、福岡市、産業界による産官学連携の「福岡未来創造プラットフォーム」では、地域貢献活動を通じた学生交流を目的に学生ネットワーク構築事業に取り組んでいます。2019年のスタート以来、商店街活性化をテーマに大橋商店連合と香椎商工連盟の若手リーダーの方々と力を合わせて実施してきました。2022年度は5大学23名の学生が応募し、主に香椎商店街の活性化に取り組みました。

最終的に、2022年12月16日～17日に、2020年度以降のコロナ禍で中止が続いたクリスマスマーケットにおいて、3年ぶりに開催の運びとなり、学生企画を出展いたしました。

ここでは、Instagramによる情報発信、ポトフ販売、交流会、交流会参加者が書いたメッ

セージカードで彩られたクリスマスオーナメントなどの企画を行い、商店街の活性化に一役買いました。学生にとってこの活動は、実社会をフィールドとする企画案の作成とイベント創出をはじめ、大学の垣根を越えた貴重な経験となりました。



## エンジニア天神クラスを開講

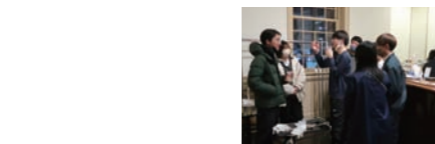


新型コロナウイルス感染症の拡大により社会状況は大きく変化し、社会全体のデジタル化・DXの推進が求められる中、エンジニアをはじめとするデジタル人材の育成が急務となっています。大学においては、数理・AI・データサイエンス教育プログラムの導入が進むなど、今後、デジタルやデータを扱う能力を育成するカリキュラムの構築が拡大していくことが想定されます。

そこで、この変化の激しい時代に対応できるよう、学生の情報リテラシーの向上を図り、デジタル系キャリア選択のきっかけを提供するため、10月から2月にかけて、福岡都市圏15大学が加盟する福岡未来創造プラットフォーム(PF)とエンジニアカフェ(福岡市天神1-15-30)が共同でデジタル人材育成プログラム「エンジニア

天神クラス」を開講しました。

福岡市の中心部にある歴史的な建物である福岡市赤煉瓦文化館内のエンジニアカフェにて、多彩な講師の皆さんをお迎えして、第1線で活躍する若手エンジニアがキャリア語る対話イベントや、AIやXRの実践型講座など、初心者から上級者向けまで様々な講座を提供しました。講座のあとには講師の方を交えて交流の機会もあり、大学生にとっては貴重な機会になったと思います。



## 性犯罪防止キャンペーンに参加



福岡県東部地域に位置する福岡工業大学、福岡女子大学、九州産業大学の3大学は「東部地域大学連携」を結成し、教育・研究活動全般における交流および連携を推進し、主に地域社会に寄与することを目的に活動しています。

東部地域大学連携では女子の安全を守ることを目的に「女子学生のための防犯推進協議会」を組成しており、この度福岡県警察の指導の下、香椎地区とJR博多駅において実施された防犯キャンペーンに参加しました。福岡県における性犯罪認知件数は全国でも高い傾向にあり、早急な改善、対策が求められています。このキャンペーンでは学生が駅を利用する女性を中心にグッズの配布、声掛けなどの啓蒙活動を行うことにより、一層の防犯意識の高揚を図る目的で実施されました。

2022年7月13日夕方、香椎地区ではJR香椎駅や西鉄香椎駅において、防犯を呼び掛けながら防犯意識啓蒙のチラシや福岡県警のグッズが入った袋を歩行者に配布しました。本学からは

FIT女子会の4名の学生が参加し、九州産業大学の9名、福岡女子大学の4名の学生と共に総勢17名で、帰宅途中の女子高生や大学生に向けて性犯罪に対する注意を呼びかけました。

福岡県警の方からは、「このような地道な取り組みを行うことが防犯につながっていく。性犯罪から身を守る正しい知識を身につけるための啓蒙活動を今後も継続してほしい」と労いの言葉をいただきました。

2022年7月21日には、JR博多駅で実施された「打ち水イベントwith性犯罪根絶キャンペーン」に防犯学生ボランティアとして本学から1名が参加しました。イベントでは福岡県音楽隊による演奏の中、防犯のアナウンスや啓蒙グッズの配布、打ち水などを行いました。

東部地域大学連携は、女子学生の皆さんが性犯罪の危険性を認識して『自分の身は自分で守る』という意識を広めていくために、協議会の活動を引き続きサポートしていきます。

## 東区芸術文化祭へ参加



福岡市東区の主催で2022年10月～12月の期間、東区芸術文化祭が開催されました。これ

は区民が心豊かに生き生きと暮らせるまちづくりへ向け、多くの区民が気軽に芸術文化を楽しむ

ことができ、質の高い芸術文化に触れる機会の提供を目的とした取り組みでした。

音楽や舞踊など様々なジャンルの催しや展示が行われましたが、10月2日～10月12日の期間、本学の写真部、モダンアート部、モノづくりセンタープロジェクトがなみきスクエアで作品等の展示を行いました。これは東部地域大学連携と東区芸術文化祭の連携事業が、東部地域大学連携共同作品展と題して福岡工業大学、九州産業大学、福岡女子大学が作品の展示を行ったものです。

写真部は、写真11点、モダンアート部からはイラスト13点、立体作品1点、モノづくりセンターからはロボット3点とアクセサリーなど6点を出品しました。期間中は多くの市民の方々に作品を観覧いただき、日ごろの活動内容の成果をみてもらう良い機会となりました。

## 感謝状贈呈式へ参加



福岡県東部地域に位置する福岡工業大学、福岡女子大学、九州産業大学の3大学は「東部地域大学連携」を結成し、教育・研究活動全般における交流および連携を推進し、主に地域社会に寄与することを目的に活動しています。

東部地域大学連携では女性の安全を守ることを目的に「女子学生のための防犯推進協議会」を組成しており、本学からは主にFIT女子会がこの活動に参加しています。今回、活動の一環として福岡県警からの要請を受け、指導を受けながらFIT女子会の5名を含む3大学合同のメンバーで防犯動画「その油断、危険です!」を制作しました。動画の内容は性犯罪の防止について分かりやすく注意喚起したもので、現在福岡県警の公

式YouTubeチャンネルにて公開されています。

この活動が防犯意識の向上に寄与したとして福岡県警より感謝状が贈呈されることとなりました。

2022年10月12日、九州産業大学にて開催された「地域安全フォーラム2022」において贈呈式が行われ、九州産業大学、福岡女子大学、本学の代表者各1名が登壇し、県警から感謝状を渡されました。

東部地域大学連携は、女子学生の皆さんが性犯罪の危険性を認識して『自分の身は自分で守る』という意識を広めていくために、協議会の活動を引き続きサポートしていきます。(社会連携室)

## 認知症への理解を深めるフィールドワークに参加



福岡工業大学、九州産業大学、福岡女子大学で構成する「東部地域大学連携」では、福岡市東区が若い世代に対し、認知症への理解を深めてもらうために取り組んでいる「福岡市東区認知症に優しいまちづくり事業」と連携し、講座やフィールドワークなどのイベントを行っています。この一環として、2022年11月26日に認知症の方への声掛け訓練のフィールドワークが九州産業大学で開催され、本学の学生3名職員2名が参加しました。

認知症は誰にでも起こりうる脳の病気によるものです。家庭や社会の中で高齢者と関わる場面も多い現代ですが、福岡市では、認知症の方の意思を尊重し、できる限り住み慣れた地域の良い環境で、自分らしく暮らし続けることができるまちづくりをすすめています。そこで認知症を正しく理解し、認知症の方と家族を温かく見守るため、9月に実施された「認知症サポーター養成講座」を経て、今回実際に困っている認知症の方に声をかける訓練を行うフィールドワークを

実施したものです。当日は講師を事業所ネットワーク「香椎・香住丘さくらネット」や認知症ライフサポートワーカー、東第3いきいきセンターふくおかの方々や務め、香椎校区の方や学生など100人近くが集まりました。

認知症サポーター養成講座の振り返りの後は、5人の班に分かれ、屋外で認知症の方に声をかける訓練を行いました。なかなか思うような返答が得られない状況で戸惑いながらも順番に声をかけあい、その後、どのような設定だったのか、どう声をかけたら良いのかを認知症の方にお願いいただきました。

最後に、講師の方々も班に入り、学生や地域の方と共に感想などを述べあいました。「実際にどのように声をかけたらいいのか難しかったが本日の経験を今後の生活に役立て、困った人がいたら積極的に声を掛けたい」等の感想を述べられました。

## 東区こども青少年文化祭「ユースフェスタ・ひがし2022」に参加



2022年11月27日に「ユースフェスタ・ひがし2022」と題した、こども青少年文化祭に、本学のモノづくりセンターのプロジェクトチームが参加しました。

ユースフェスタ・ひがしは、こどもたちの文化芸術活動を奨励するとともに好奇心を刺激し、創造

力を育む様々な体験の場を提供することにより、こどもたちの豊かな人間性を育み、自己形成に資することを目的としています。

本学のモノづくりセンターは、「二足歩行ロボット・アームロボットを体験しよう!」と「キラキラ、レジンキーホルダーをオリジナルで作ろう!」の二つのワークショップを開催しました。

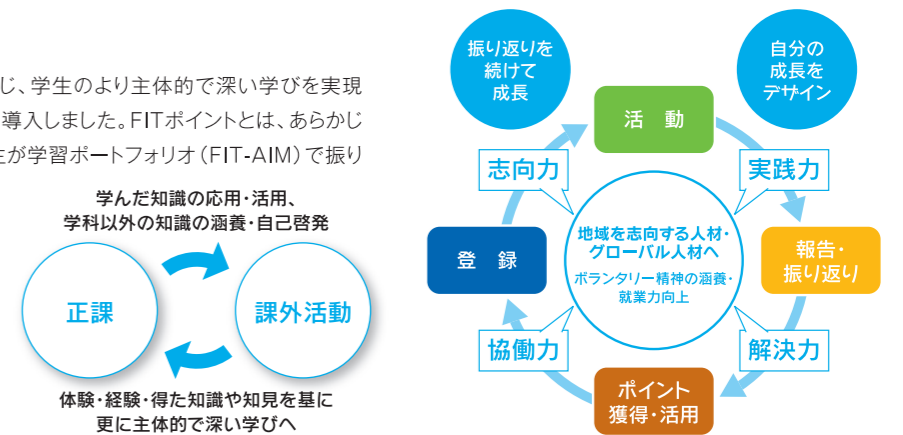
決められた時間ごとに予約した、たくさんの小中学生の皆さんが保護者の方と一緒にロボット体験やキーホルダー作りを体験しました。どのこどもたちもロボット操作やキーホルダー作りに楽しそうに参加していました。

FITポイント  
社会貢献  
・  
自己啓発

FITポイント制度で地域貢献・社会貢献・自己啓発など課外活動に取り組む学生を支援します。

### FITポイント制度とは?

福岡工業大学では授業以外での活動を通じ、学生のより主体的で深い学びを実現するため、「FITポイント制度」を2019年より導入しました。FITポイントとは、あらかじめ大学が指定する課外活動に取り組んだ学生が学習ポートフォリオ(FIT-AIM)で振り返りを行うと、①活動内容 ②移動距離 ③期待される成果などを勘案したポイントを獲得できる本学独自の学修支援制度です。この「FITポイント制度」は、学生の皆さんが主体的に活動に参加し、記録し、振り返ることによって自分の成長を確かめ次の成長につなげることを目的としており、獲得したFITポイントは、学内店舗で使用できます。



# 2022年度 主な活動一覧

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●古賀市「連携協議会」</li> <li>●福岡未来創造プラットフォーム 大橋、香椎の商店街活性化を目的の「商店街PBL2022」募集開始</li> <li>●古賀市「スイートコーンプラズマ照射種子の生育実証実験」播種および定植(1回目)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●古賀市「JR古賀駅西口エリア再生プロジェクト」ホーホウ木藤氏講演</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●古賀市「スイートコーンプラズマ照射種子の生育実証実験」定植(2回目)</li> <li>●新宮町「こども体験クラブ①」</li> <li>●東部地域大学連携「女性リーダーシップシンポジウム」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●福岡市「オンライン防災訓練」</li> <li>●福岡未来創造プラットフォーム「ビジネスチャレンジNEXT」</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●福岡市「学生サポーター」</li> <li>●福岡市「MICE×グローバル人材研修プログラム」</li> <li>●東部地域大学連携「第1回東部地域大学連携学生懇話会、女子学生のための防犯推進協議会」</li> <li>●福岡市「ラプアースクリーンアップ2022」</li> <li>●古賀市「スイートコーンプラズマ照射種子の生育実証実験」収穫(1回目)</li> <li>●福岡県警察「サイバーセキュリティに関する協定」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新宮町「放課後学習支援員」</li> <li>●東部地域大学連携「九州市民大学」</li> <li>●新宮町「楯の松原清掃活動」</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●福岡市「まちスポキッズランド」</li> <li>●東部地域大学連携「香椎駅防犯キャンペーン」「博多駅防犯キャンペーン」</li> <li>●和白5校区「122回キャンパスサミット」</li> <li>●福岡未来創造プラットフォーム「商店街PBL2022」商店街の活性化を目的に学生が交流開始</li> <li>●新宮町「寺子屋見守り事業」事業開始</li> <li>●古賀市「スイートコーンプラズマ照射種子の生育実証実験」収穫(2回目)</li> <li>●美和台公民館「子ども食堂イベント」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●古賀市「高齢者へのメッセージカード作成」</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●古賀市「連携協議会」</li> <li>●新宮町「こども体験クラブ②」</li> <li>●新宮町「連携協議会」</li> <li>●福岡未来創造プラットフォーム「商店街PBL2022:大橋商店街まち歩き」</li> <li>●福岡未来創造プラットフォーム 共同開講プログラム「SDGsを学ぶ」</li> <li>●福岡未来創造プラットフォーム「商店街PBL2022:マーケティング講座」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域貢献「サイエンスフェスタ」</li> <li>●新宮町「サマーキャンプ」</li> <li>●篠栗町「介護予防PBL」開始</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●福岡未来創造プラットフォーム「商店街PBL2022:香椎商店街まち歩き」</li> <li>●福岡未来創造プラットフォーム「商店街PBL2022:商店街ヒアリング」</li> <li>●古賀市「キーホルダー制作講座」</li> <li>●福岡未来創造プラットフォーム「FUKUOKA CAREER EXPO(福岡キャリアエキスポ)」</li> <li>●新宮町「SSX事業ワークショップ」</li> <li>●福岡未来創造プラットフォーム「商店街PBL2022:全体ミーティング」</li> <li>●東部地域大学連携「認知症に関する講座:認知症サポーター・ユマニチュード講座」</li> <li>●篠栗町「介護予防PBL:篠栗町福祉課ミーティング①」</li> <li>●和白地域「わじろ地域大学」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●古賀市「小学生向け防災教育:花鶴小防災キャンプ」</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●東部地域大学連携「東区芸術文化祭」</li> <li>●福岡未来創造プラットフォーム 共同開講プログラム「エンジニア天神クラスXR編」</li> <li>●福岡未来創造プラットフォーム 共同開講プログラム「エンジニア天神クラスAI編」</li> </ul>	
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●篠栗町「植樹祭」</li> <li>●古賀市「仮名加工情報を用いたデータサイエンスに関する連携協定」</li> <li>●福岡未来創造プラットフォーム 共同開講プログラム「世界の潮流から見える2050年の都市とキャリア」</li> <li>●和白東校区「GOGOえんにち」</li> <li>●新宮町「たちばな竹灯籠まつり」</li> <li>●古賀市「こどもわくわくフェスタ」</li> <li>●東部地域大学連携「第2回東部地域大学連携学生懇話会、女子学生のための防犯推進協議会」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●福岡県「新宮海岸清掃」</li> <li>●東部地域大学連携「認知症に関する講座・声掛け訓練」</li> <li>●東部地域大学連携「ユースフェスタ・ひがし2022」</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●環境3大学「環境フォーラム」</li> <li>●福岡未来創造プラットフォーム「商店街PBL2022:香椎クリスマスマーケット」</li> <li>●新宮町「歳末町内一斉安全安心パトロール」</li> <li>●和白5校区「地域共生学習講座」(12月~3月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域貢献「クリスマスコンサート」</li> <li>●和白東公民館「多文化共生講座」</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●古賀市「JR古賀駅西口エリア再生プロジェクト発表会」</li> <li>●篠栗町「地域創生入門」町長、福祉課へのプレゼンテーション</li> <li>●古賀市「スイートコーンプラズマ照射種子の生育実証実験」成果報告会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●古賀市「シスマネPBL古賀市プロジェクト成果報告会」</li> <li>●篠栗町「少年野球チームへの野球教室」</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●福岡県警察「サイバー犯罪捜査体験会」</li> <li>●福岡未来創造プラットフォーム 共同開講プログラム「エンジニア天神クラス3回目」</li> <li>●和白地区「わひがの:こども食堂」</li> <li>●福岡未来創造プラットフォーム 共同開講プログラム「エンジニア天神クラス4回目」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新宮町「相島小学校、立花小学校へのICT体験授業」</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>●和白5校区「123回キャンパスサミット」</li> <li>●東部地域大学連携「第3回東部地域大学連携学生懇話会、女子学生のための防犯推進協議会」</li> <li>●東部地域大学連携「東部地域大学連携推進委員会」学長懇話会</li> <li>●新宮町「連携協議会」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●新宮町「楯の松原保全活動」</li> <li>●篠栗町「介護予防PBL:スマホ教室」</li> <li>●福岡未来創造プラットフォーム「商店街PBL2022:成果発表会」</li> </ul>